

都 退 教 協 だ よ り

No.277号

2017年4月19日発行

東京都退職教職員協議会 会長 柴田 廸春

〒101-0003 千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

晴天の下、新宿御苑で桜花を観賞

4月4日(火)、前日とは打って変わって日差しがあふれる中、11:00、「新宿御苑・大木戸門」に集合し、都高教退職者会と合同での「花見会」を実施しました。久しぶりに入苑して、以前と変わっていたのは、「持ち物検査」でした。「苑内飲(酒類)食禁止」になっていて、ガードマンが一人ひとりのバッグの中を調べていました。もう一つ目については、外国人観光客の多さでした。アジア系の人々を中心に半数近くいたと思われます。

桜は、「開花宣言」から10日以上経っていましたが、低温続きだったせいか、「7部咲き」という所でした。それぞれ思い思いに散策し、12:30ころ「新宿門」で合流し、新宿3丁目の中華料理店で懇親会を持ち、各々自己

紹介を兼ねながら、近況・感想などを述べ合い盛り上がりました。

当日の参加者は、都高教退職者会が平岡会長以下3人、都退教協は秋元清、秋元松、安部、川角、柴田悦、柴田廸、長谷川、村田の計11人でした。(柴田記)



5.3 憲法集会 — 平和といのちと人権を！ —

日時：2017年5月3日(水・休) 11時30分～

場所：東京臨海広域防災公園

りんかい線「国際展示場駅」徒歩4分

ゆりかもめ「有明駅」徒歩2分

11時30分～ ブース・イベント広場：

12時～プレコンサート：ユキヒロ/佐々木祐滋

13時～集会・スピーチ

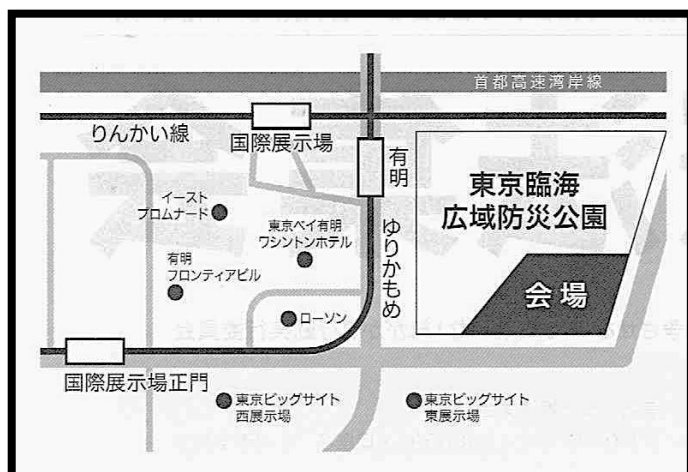
池内了/伊藤真/落合恵子/植野妙実子

ピーコ/山口二郎/山田火砂子

特別ゲスト：李泰鎬(朴槿恵退陣国民行動)

政党あいさつ/

14時30分～ クロージングコンサート：



会員からのおたより

1, 2年前から比較すると、身体の不具合が多くなり苦勞しています。

歩くことも次第に続かなくなり、情けない有様です。

小・中学校時代を思い返すと、赤坂に育ち2・26事件や大学生が学徒動員に狩り出され、東条首相の前で行進するのをスタンドで応援させられたり、世の中だんだん軍国右傾化するのを感じたものでした。間違いは再び起るものですね。安倍内閣のやり方はその頃とよく似ています。安保法制、テロ対策と称して言論を圧迫する企みは明白です。TVで安部の顔を見るとむかむかします。

太田恵康さん (88才)

昨年暮れ身内に慶事があり、突然ハワイ行きがきまりました。他にも兄弟姉妹はいるのですが、皆健康上に問題があり、私たち夫婦だけが条件にあってハワイでの「式」に立ち会うことになりました。

私自身アメリカ行きは、気がすすまなかったのですが、ツアーの企画で、「パールハーバー」へ行く予定というので、ならば「アリゾ

ナ記念館」に行ける、と期待していました。

ところが、当日「アベ某」が「点数稼ぎ」を狙って勝手に割り込み、一般人「立ち入り禁止」見学不可です。どこまで庶民の楽しみを奪ったら気が済むのか。怒り心頭！

柴田廸春さん

定年退職後、非常勤教員を5年間勤め、今は、その学校に時々ボランティアとしてお手伝いに行ったりしていますが、基本的には自宅で好きなことをやっています。中でも“江戸川教育センター”のブログ更新は時間をかけ楽しみの一つとしています。母体の江戸川区教組の教研を少しでもの支えになれば幸いと思っています。現職中も“組織”は好まず、組合幹部を務めた折にも何かと個人内では矛盾・葛藤の多かったのも事実です。しかし、都退教の事務局等で活動されていらっしゃる方々には感謝の連続です。今後とも自分の感性を大切にしつつ、連帯したいと思っています。

関川俊一さん

戦犯は「A級」だけではない—韓国人元BC級戦犯について—

柴田 廸春

昨年6月、「元韓国人BC級戦犯の訴え—何のために誰のために—」(梨の木舎・李鶴来著)の出版記念会の案内をいただき出席しました。その本の概要を紹介します。

李鶴来さんは、1925年2月、現韓国全羅道の農家に生まれ小学校で日本語に出会い、卒業して郵便局に勤め、「捕虜監視員」の仕事があると誘われた時17歳になっていました。

41年12月8日マレー半島上陸の日本軍は、アジア各地に多数の連合軍捕虜を抱え監視要員が必要でした。李さんは、面・郡の割り当てで「合格」、釜山で2か月理不尽な制

裁を伴う「軍事訓練」だけで「日本軍軍属」となりました。着いたのは「泰緬鉄道」工事現場で、43年10月工事終了ごろ爆撃がありました。44年6月、「契約期間」満了・帰還を要求して、軍属が「反乱」しました。45年4月、李さんはタイ俘虜収容所のバンコクで「雇員」になり、個室に入りました。

日本の敗戦を聞いても「ポツダム宣言」は知らず、「捕虜の虐待者は厳罰に」もラジオで知りました。「虐待」認識はなかったが、「俘虜虐待者は身を隠せ」の命令は受けていません。元捕虜たちは好き放題で、タイ人の反感

を買いました。

首実検で50人が指名され連合軍は元監視員148名を戦犯にし、内23名が死刑判決でした。私は、死刑判決後シンガポール刑務所で8か月、後懲役20年に減刑され、51年8月巢鴨プリズンに移管、57年4月までに釈放されましたが、何の受け入れ態勢もなく巷に放り出されました。

厳しい状況下、55年4月、在監中の者と共に元BC級戦犯者「同進会」を結成し、ここを中心に、日本政府への処遇改善、釈放の促進、遺骨送還、謝罪と国家補償等を求め、運動を進めました。官邸前や鳩山一郎、石橋湛山、岸信介などの私邸前でも座り込み、鳩山首相は「善処する」と答えました。政府は55年7月、58年12月の閣議で「清交会」（韓国系）、「友和会」（台湾系）を通じ仮設・公営住宅への入居、生業資金（5万円）見舞金の給付を決定しました。

52年4月28日講和条約発効時、日本は朝鮮・台湾出身戦犯の日本国籍を剥奪釈放を認めません。日弁連の釈放要求に最高裁は「科刑時が日本人」と請求を却下し、援護と保障措置は、「日本国籍がない」から除外としました。不条理この上ない措置です。

日本政府は「善処する」から、65年「日韓会談」後「解決済み」に転じました。一時期「遺骨送還」に専念し、79年6月、「遺骨送還」請願が通り、82年暮れには刑死者等の多くの遺骨を遺族に送還できました。

91年11月、謝罪と補償を要求し東京地裁に提訴しました。以後、地裁、高裁、最高

裁、と8年余、不当な処遇を訴え続けました。裁判所は、被害は認めながら「受忍論」「立法不作為」を理由に棄却しました。「付言判示」には「原告らは無期刑・極刑と深刻且甚大な犠牲・損害を受けた。国政関与者らは早期解決を図る立法措置を速やかに講じることを期待する」とありますが、立法化運動16年余依然未解決です。08年5月、民主党が「特別給付金法案」国会上程するも廃案、12年再び自公政権3年余、厳しい状況継続です。日本政府は戦中・戦後多大な犠牲を強要しながら、何らの謝罪・補償もないのは理不尽この上なく、決して容認できません。

日本政府は「日韓会談」で「BC級戦犯問題は別途研究する」としながら50年間無視です。

韓国政府は06年「BC級戦犯は強制動員被害者」と認定し、「対日協力者」の汚名を返上、名誉回復しました。

一方、日本政府は、87年台湾人戦没者・遺族らへの弔慰金給付、2000年平和条約国籍離脱戦没者への弔慰金、見舞金給付、10年シベリア抑留者への特別給付金給付を実現しています。また「旧連合軍捕虜と家族」を毎年招待し、外務大臣が謝罪しています。

BC級戦犯問題は鳩山内閣以来60余年無視され続け未解決です。日本政府・国会の良識と誠意に強く訴えます。懸案解決のため皆様の一層のご支援ご協力をお願いいたします。と、李鶴来さんは訴えておられます。

トランプ大統領の障害者侮辱はゆるせない！

片桐 健司

大統領選挙のときから、トランプ氏が選ばれたらと心配していた。選挙で勝つための単なる口からでませパフォーマンスカなども思ったが、現実に大統領になって、言ってきたこと以上にやっていることがひどくて、このままいったらどうなるかと、ますます心配になってきた。

隣の国との国境に壁を作るなんて冗談かと

思ったら本当に始める。イスラム主義の国の人たちの入国をさせないと、そんなことできるのかと思ったら、これも始める。ビザもあり、あるいは自分の家族が住んでいるのにそこに行かれない。アメリカには法律がないのかと思った。大統領が言えば、その通りになってしまう。世界の終わりまでの時計があと2分30秒になったというのが、ほんとうだ。こ

れでは、いつ戦争が起きてもおかしくない。

どれもこれも心配だが、それ以上にひどい話だと思うのは、彼の中にある差別性だ。彼の言動や行動から、白人と有色人種とをかなり区別している。同じことを言うにしても、白人に対してと有色人種に対しては、そのあたり方が違う。日本に対してもけっこう強いものの言い方をするのは、単に貿易赤字がどうのということより、相手が黄色人種だから、という感覚が強いような気がしてならない。

そしてその差別の矛先は障害者にも向かっている。自分のことを批判した報道機関の記者が障害をもっていて、その人が取材に来たときのその人に対応する仕方は、その報道機関に対しての物言いではなく、あるいはその記者に対しての発言ではなく、その人の障害の姿をまねしてばかりにすることであった。

このことは、ある映画賞の受賞のときに、俳優のメリルストリープさんの発言によって明らかにされた。そのメリルストリープさんの発言が報道されたとき。トランプ大統領の仕草もテレビに映し出されたのだが、学校で

もし子どもがそんなことをしたら、「今、何をした！」と私だったら怒りまくりそうな、そんな仕草だった。

メリルストリープさんと言えば、マディソン郡の橋とか、マンマミーアとか印象的な映画に出演していた女優だ。彼女があえて世界が目にするその表彰式の場面で発言したことには、彼女の感覚と勇気の素晴らしさを感じた。

日本では、石原慎太郎氏も差別発言を多くしてきた。しかもうっかりではなく、意図的にしてきたところが、トランプ大統領とよく似ている。つまり、差別を意図的に助長するためにしている。世界のリーダーがやってるのだから、自分だってやってかまわないという気持ちが人々の中に育つのが怖い。やまゆり園と同じことが、こうして起きるのだと思う。国境の壁にしろ、入国拒否にしろ、そして差別にしろ、人と人との分断に他ならない。

お互いの繋がりがなくなったら、世も終わり。本当に心配だ。

都退教協 定期総会のご案内

- 1、日 時 7月12日(水) 午後2時開会～4時閉会
- 2、会 場 日本教育会館2階 東京教組会議室
- 3、議 事 ①2016年度 経過・決算報告
②2017年度 活動方針・予算案
③2017年度 役員人事
④総会宣言
⑤その他

※閉会后 神保町の中華料理店「三幸園」で懇親会を開催いたします。(会費三千元)

※連絡先 柴田会長 090-6700-7087 谷口事務局長 090-5202-0117

編集後記

* 注目の東京都議会議員選挙。都退教協は「あべ祐美子」(品川区)を推薦し当選をめざしている。多くの候補が小池知事率いる「都民ファースト」になびく中で、あべ祐美子さんは、「子育て・介護・はたらき方」「新しい東京へ」を訴えて民進党の予定候補として頑張っている。同封の紹介者カードに品川在住の知人友人を書き返信用封筒に入れて投函してください。

* 新年度を迎えました。振込用紙を同封しましたので、今年度の年会費(二千元)の振込みをお願いいたします。

* 戦争大好きな安倍首相。トランプのシリア爆撃を支持し、北朝鮮への「斬首作戦」も支持しようとしているが、ミサイルが飛んでくるのは日本の米軍基地。その被害者は国民であることを肝に命じてほしい。日米両軍とも国民を守らないは、歴史の教訓だ。(谷口記)